



(写真上;石川健児氏所蔵)チボリの中央部、倉敷用水沿いに、クラブウ工場跡地から移植された木々が繁っている。(写真下;倉敷市所蔵)チボリが来る前は緑の工場跡地。左上から右下へと流れる倉敷用水・側道は、約8m幅で倉敷市所有。クラブウ取り込みを止め自由通行にすべきです。



### 繰り返すな!!税金投入の愚

## チボリ閉園で緑はどうなるのか

今年末でチボリ閉園、という情勢になって来ました。岡山県とクラブウが交わしている契約書では、事業中止の場合、「原状回復して更地返還」と定められています。

写真上(2006年のチボリ公園)から、左下写真(1993年チボリが来る前のクラブウ工場跡地)に戻る、ということですが、そもそもチボリの緑は、クラブウの木々を移植したものが大半です。「緑」は契

約上残るのです。ところが今回倉敷市長選挙で「公園部分を残せ」と、地代負担など税金投入を続けさせようという動きがあります。

小山議員は「税金投入の愚を繰り返すな」と厳しく批判し、「クラブウに対して税金投入するのか」と質しました。

古市市長は「クラブウの新たな開発への金銭的支援は、検討していない」と言う意味で白紙だ」と答えました。

日本共産党倉敷市議団

# 小山ひろみちニュース

倉敷市田ノ上794  
Tel ; 421-1032  
Fax ; 421-1024  
Mail;perosan@mx1.kct.ne.jp

2月議会報告号

## クラブウに社会的貢献求め 倉敷用水自由通行・緑道公園化を

1992年、チボリへの土地提供を取りやめ、市民のために貢献を」として、「チボリはいらない万寿学区の会」世話人代表鴨川俊作氏が、倉敷紡績株式会社に対し、工場の中を流れる倉敷用水を市民に開放し緑道公園とする要請を行っています。

小山議員は、「本町のクラブウ工場跡は倉紡記念館とアイビースクエアとして、文化、観光拠点となった。しかし、酒津のクラブ工場跡は大型商業施設となって、中心市街地の空洞化に影響を及ぼし、社会的貢献として評価はできない。駅北口のクラブウ工場跡地について、倉敷用水緑道公園などの社会的貢献をクラブウに求めよ」と質しました。

古市健三市長は、「クラブウが新たな開発を

する場合、公園部分を出来るだけ残すよう働きかけていく」と答弁しました。

倉敷紡績株式会社社長 藤田温様 1992.9

チボリへの土地提供をとりやめ、市民のために貢献を

(前中略)平成3年3月につくられた倉敷市の「北都プラン」に、駅北口から酒津公園の間の倉敷用水を緑道化する計画があります。今後の敷地活用がどのようになるうとも、最低限の市民への還元として、貴社の所有地の一部を提供していただき、用水の兩岸に一定の幅の緑地・遊歩道などの「緑道公園」(岡山の西川がお手本)を造り、ひろく市民に供されれば、市民は例えば「倉紡記念緑道公園」とでも名付け、貴社の大きな社会的貢献として後世までその名を讃えるのではないのでしょうか。貴社のご良識とご英断を心より期待します。

チボリはいらない万寿学区の会世話人代表 鴨川俊作

## 鉄道高架を待つのではなく 急がれる寿町踏切の地下道建設

昨年末、寿町踏切を手押し車で渡ろうとしたお年寄りが立ち往生し、通行人がみんな大騒ぎという事件が起きました。この踏切除却のための地下道は25年以上前から都市計画決定されています。地下道を車が通り、人と自転車は現在ある陸橋に、スロープあるいはエレベーターを設置して渡すようにすれば、踏切除却はできます。

しかも地下道ができれば、倉敷駅の南と北に分散しているバスターミナルなどの連絡道として役立ちます。岡山駅でも橋上化とともに跨線橋が建設され、ターミナル機能が大

幅に強化され、大変賑わっています。

小山議員は「倉敷は、駅を中心にした放射状道路と環状線が基本構造。そのセンター・ターミナル機能をもつ倉敷駅周辺は、寿町踏切除却・地下道建設で南北一体化が待ち望まれている。チボリを誘致してきたが、鉄道高架を県がしてくれと言われてきたが、情勢は変わった。何時までも鉄道高架を待つのでなく、寿町踏切除却を一日も早く実行することこそ市長の責務ではないか」と質しました。

古市市長は、「鉄道高架はまちづくりには不可欠」と同じ答弁を繰り返すばかりです。